



梅雨の期間が、過去最短だそうです。いつもより早いタイミングで夏の暑さをもたらす高気圧といわれる

勢力が強まったことから、記録的に早い梅雨明けの発表があったようです。ただ、7月に入って大気の状態が不安定になり、曇りや雨の日が増えて「戻り梅雨」となる可能性もあるそうです。

それでも暑さは厳しいと思いますので、水分補給や帽子をかぶるなど対策はとりましょう。

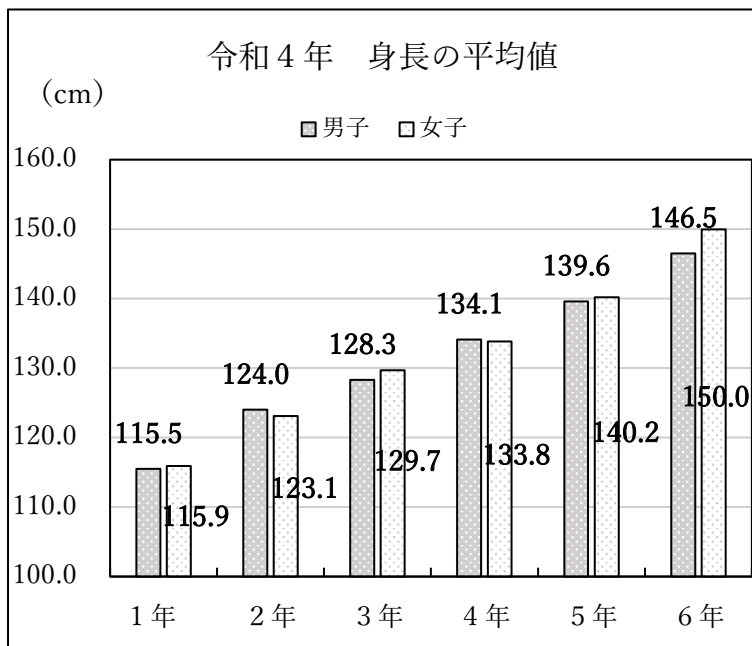


熱中症予防のため、5月～9月まで水筒の中身はスポーツドリンクでも大丈夫です。

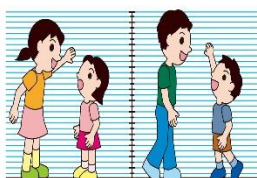
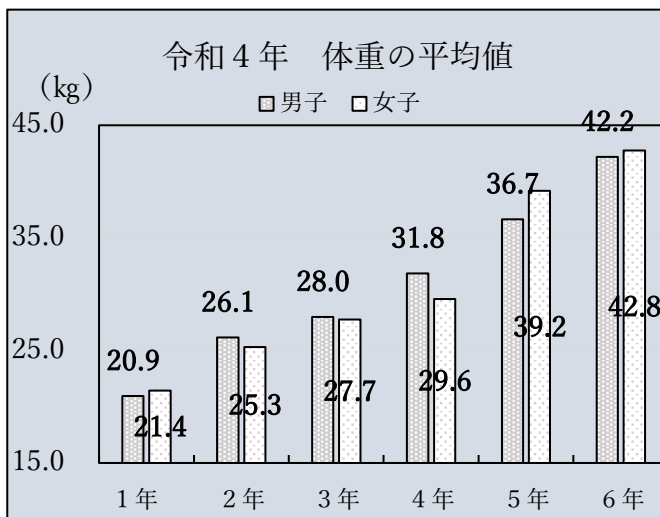
また、1学期のまとめの時期になりますので、生活習慣の見直しもできるといいですね。



はついくそくてい しんちょう たいじゅう へいきん 発育測定（身長・体重）平均



どのくらい
大きくなったかな？



個人差があります。成長する速度は人それぞれ。あくまでも平均です。

なつ は や びょうき き **夏に流行る病気に気をつけよう！**

ヘルパンギーナ

夏風邪の代表です。発熱やのどの痛み・口の中の水疱・潰瘍などの症状が出ます。潜伏期間は3～6日で、発症後1週間～数か月は感染の可能性があるため注意が必要です。



ようれんきんかんせんしゅう 溶連菌感染症

発熱や扁桃炎・リンパ節の腫れ・莓舌（舌にいちごのようなボツボツができる）・発疹などの症状が出ます。潜伏期間は、（罹患した人が）服薬後24時間までは感染の可能性があるため注意が必要です。



てあしくちびょう 手足口病

手や足の先などの四肢や口の中などに水疱状の発疹ができる伝染性のウイルス性感染症です。発熱、口腔内の痛みから食欲不振などの症状が出ます。



てんせんせいのおかしん とびひ（伝染性膿痂疹）

虫さされや湿疹などをかいた後、傷になったところから細菌感染し、水疱ができます。かゆいためかいてしまい、感染が広がるため注意が必要です。



みず すいとう 水ぼうそう（水痘）

水疱のある発疹が体中に次々と出ます。潜伏期間が10～21日。感染可能期間は発疹が出る1～2日前から発疹が痂皮化するまでです。患者との接触後72時間以内の予防接種有効、予防接種で帯状疱疹など続発症も防げる。



びょう だんせんせいこうはん りんご病（伝染性紅斑）

頬に赤い発疹・手足にレース状の発疹があり、潜伏期間は4～21日。感染症のため、医師の判断を仰いでいただくようお願いしています。



ねつ いんとうけつまくねつ プール熱（咽頭結膜熱）

38～39度の高熱が続き、結膜炎・のどの痛みやリンパ節の腫れなどの症状が出ます。



よび ますく らんどせる
予備のマスクはランドセルへ、

はんかち ていっしゅ ぽけっと い
ハンカチ・ティッシュはポケットに入れよう☆